

介護老人福祉施設 琴清苑

# 琴清苑だより

社会福祉法人 双葉会 (第5号)

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099 TEL0428-83-3932

URL <http://www.futabakai.or.jp> e-mail [kinseien@futabakai.or.jp](mailto:kinseien@futabakai.or.jp)



屋上で、花火を観賞しながら焼き鳥を食べている高橋吉五郎さん

## 発刊から一周年



あいらじ  
社会福祉法人 双葉会  
氷川保育園長 杉村誠二

琴清苑だよりが  
発行して早いもの  
で一年が過ぎよう  
としています。こ  
の一年の間に社会  
情勢も大きく機軸  
わりし、情報化時  
代の到来に伴いリアルタイムで様々な  
情報が私達のもとへ届くようになりま  
した。あまりにも早い社会情勢の変化  
に対応しきれずに戸惑いを感じていま  
す。そのなかで、この四月より介護保  
険がスタートしました。介護の問題を、  
保険的システムでとらえがちな傾向の  
中、琴清苑にあっては、今までと変わ  
ることなく家庭的な明るい雰囲気を持  
ち続けようと、職員全員で利用する方  
の生活に日々努力を重ねています。  
さて、先月は、「敬老の日」があり  
ました。琴清苑でも九月十五日に敬老  
感謝祭を開催し各方面の方々よりお祝  
をして頂き、ご家族の皆様とも楽しい  
一時を過ごされました。保育園でも敬  
老の日を通し、お年寄りを大切にする  
心を育てる機会として、僕の私におお  
じいちゃん・おばあちゃんにハガキ  
を出しました。「おじいちゃんから楽  
しい絵が書いてあるねと電話をもらっ  
た」「おばあちゃんありがとってハ  
ガキがきた」とうれしそうに話してく  
れます。おじいちゃん・おばあちゃん  
に喜んでもらえたという事が子ども達  
にとって成長につながるのではないで  
しょうか。また、琴清苑のお年寄りの  
方とは、毎月ある誕生会のプレゼント  
や秋に行う運動会をとても楽しみにし  
ています。これからも琴清苑のお年寄  
りの方との触れ合いを通じ、敬愛の気  
持ちを育んでいきたいと思っています。  
琴清苑だより発刊一年にあたり、ご  
家族皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

# ホームページ開設

広報活動の一環として、琴清苑だよりを発行して早くも1年が経過しました。  
 その間、パソコン及びインターネット等の普及には眼を見張るものがありました。  
 そこで、社会福祉法人双葉会としても、広報のみならず、情報開示の手段の一つとして、インターネット上にホームページを開設しました。

## 双葉会のホームページができました!!

7月上旬に開設しました  
 皆さんアクセスして下さい

U R L <http://www.futabakai.or.jp>  
 e-meil [kinseien@futabakai.or.jp](mailto:kinseien@futabakai.or.jp)

## ホームページの中は?

### 双葉会の運営する

#### 施設の紹介

#### I 寿楽荘・琴清苑

介護老人福祉施設  
 短期入所生活介護事業  
 居宅介護支援事業所

での入所案内、施設での生活施設案内図等を掲載

#### II 氷川保育園

入園案内、園での生活等施設案内図等を掲載

#### III 双葉会診療所

施設案内、診療科目  
 営業時間等を掲載

その他、法人内のニュース施設案内図などを掲載しています。

ホームページの第一面には、奥多摩駅の山小屋風の駅舎を映し出しております。  
 どうぞ、インターネットをおやりになる方は、一度アクセスしてみたいかがでしょうか。



## 面会簿の記入にご協力を

玄関を入りすぐ前の処に、面会簿記入台を設置してあります。  
 休日ともなると、かなりの方が面会に訪れます。しかしながら、面会簿を記入されない方が少なくありません。

利用者への面会状況は、面会簿にたとえるところが大きいと云うのが現状であります。

職員も気がついた時は、面会簿への記入をお願いするよう努めております。

入所時に来苑された方を除くと、それ以外の親戚、知人等の方の認識や緊急時の連絡をとる場合など、やはり面会簿が頼りとなります。

月毎の記入者を集計しておりますが、ちなみに八月は、四十人程でしたが、実際には、もっと多くの方が見えていたようです。利用者にとって、一番の楽しみは顔見知りの方の来苑である事は言うまでもありませんが、皆様が1回でも多く来てくれる事を心待ちにしているはずですよ。

是非、琴清苑に面会にお越し下さい。  
 その時は、お手数ですが面会簿の御記入をお願いします。



## 屋上花火鑑賞会

琴清苑厨房委託業者

日清医療食品舗

栄養士 山下洋子

花火大会の当日は雨が降りそうで少し心配でしたが、実施されて安心しました。普段めったに会う機会のない利用者の方々の顔を見ることが出来て良かったと思えました。利用者の皆様が、「ハッピー」を着て花火を見たり、食事をしたりととても楽しそうにしていたのが印象的でした。



日清医療食品舗のみなさん  
 右から山下、加藤、安藤、大井、原島さんです。



夏の夜空に咲く花火を見上げている  
 佐藤サダさん



# 獅子舞の訪問

介護職員 近藤敏昭

小留浦山祇神社獅子舞は今から七五年前、寛元三年(一二四五年)に内裏に始められ(一四八〇年)頃当地に伝えられました。近隣の獅子舞として最も歴史が古く東京地方の獅子舞の元祖と言われ、当地より松原の藤倉、小河内の原、河内、相模原の下九沢、上大島、等々各地に伝えられました。

また、これらの地域以外にも直接・間接的に小留浦山祇神社獅子舞の流れをくむ獅子舞は各地に多いと言われます。



獅子舞を終えた近藤介護職員と見学の利用者



施設の玄関でお盆の迎え火をしている様子です

# 盆供養

主任介護職員 森千恵子

集会室において、慈眼寺住職にお願いし盆供養が行われ、新盆である5家族7名の来苑と、役員4名、利用者19名、職員19名、計54名の参加がありました。住職の說法、六種供養、日蓮様の故事に於いて(お盆)の行事が7月13日16日までの期間続けられる様になりました。また、馬とお話で13日に馬に乗って早く家に来られる様に馬を作り、16日の牛はなごりおしいが、ゆっくり帰れる様にどの思いやりの心であるお話や、先祖に対する思いやりをもって生活してほしいとの事でした。

# 利用者家族からの一言

利用者野尻さんの家族から

今日も早朝より遠く仕度をして、母の八王子に向かっている。梅街道を上り下りした事とか、決して平淡ではなかった。二度三度危うい時を乗り越えて来た母、これでも一重に苑のスタップの皆様の御蔭と頭の下がる思いで一杯の御座います。孫達の顔も何度か見せ、長女の花嫁姿も見せる事が出来、院に通いながら、命を落とす病



ベットの上での野尻洋子さん

うな時でも「母を頼みます」とたどたどしい字で綴るほどの思いを胸に、今もこのように通えるのは介護の休まぬ手をここに委ねさせていた長男と私の三人で出来るだけ長く奥多摩の四季を楽しみながら母を尋ねる事が出来れば、かならず幸福はないと思いません。大変身勝手の私共の出来事、大変身が許す限り母の顔を見に行き、若頃の好物を手土産に話を聞いてやる事くらいで御座います。ワンマン女社長で長年がらばった母が、今は子供達の来る日を一日千秋の思いで待つ事しか出来ぬ母が不びんで成りません。幸せな事が人柄の良い皆様にお世話になる事の出来る母は幸せである事と思

平成十二年九月十三日  
野尻吉一郎



# ボランティア体験学習

## 小河内中学校

毎年、小河内中学校ではボランティア体験学習をおこなっています。今年も琴清苑に4名の生徒と3名の先生が来苑され、草取りや窓拭き、車椅子掃除等ふだん職員が出来ない仕事をお手伝い頂きました。生徒の感想は、おとしよりに対する話し掛けに始めは戸惑いながらも食事介助や補水を通じて徐々に出来るようになり、楽しかった反面、職員の接し方が上手だと勉強になったとの事です。反省会では介護保険制度の事や火事、地震の対応などの質問が出て熱心に勉強されていました。



施設説明を熱心に聞かれる小河内中の皆さん

## 氷川中学校



食事の介助をしている大久保貴惟君

坂村真

琴清苑の寮母さんや寮母主任さんには、大変お世話になりました。初めてのボランティア活動で、無我夢中でした。その中でもお年寄りとお話しをしたり、食事介助をしたりと話しをしながら残っています。私は、午前8時40分〜午後4時30分頃までのボランティア活動でしたが、寮母さん達は、私よりも、もっと働いて、家に帰っても家の仕事があることを考えると大変だなーと思いました。

もっと、もっとお年寄りとお話ししたかった点もありますが、それはまた、次のボランティアの課題にした方がいいと思います。

本当に7日間ありがとうございました。

## 6月～8月のボランティア状況

(敬称略)

- 食事介助・・・トミヨ会
- シーツ交換・・・杉山 初、酒井 久、奥平恭子  
馬場静子、由美の会
- 将棋・・・堀口初夫、奥平 進、川久保勝男
- 指圧奉仕・・・奥多摩奉仕会
- 体験ボランティア・・・小河内中学校  
(大久保貴惟、青塚太郎、青塚天使、坂村真奈)  
矢島麻美、島崎葵、坂村舞、小林絵美



## 職員の見聞

入職

8月

介護職

白井真也

## 職員紹介

看護職員 浜本サダ子



利用者の田口フクさんと前庭で

二月よりベテランの看護職員が入職しました。ときばきと仕事をこなす姿は、利用者からとても頼りにされています。

## 編集後記

広報委員 原島敦子

手探りで始めた広報誌の発行も5号となり、お陰様で愛読者の方からいろいろ感想や貴重なアドバイスをいただき、大変勉強になりました。

一日の仕事を終えてからの委員会は毎回アイディアに苦しんだりは、印刷があがった時の達成感や喜びによる、ところが大きいと感じています。

今後とも沢山のご意見を頂けたら幸いです。